

新時代をひらく教師の学びとコミュニティ

1 VUCAワールドを生き抜く子どもたちの学び、必要な資質・能力

- VUCAワールド(変動的で不確実で複雑で曖昧な世界)を生きるわたしたち（スライド2）
 - * 「超つながり社会」「AI」「パンデミック」「気候変動」「戦争・紛争」
- 解放と変革の力としてのエージェンシー（スライド3）
 - * 社会をより良く変革しながら、自然と共生して地球の持続可能性を保持し、民主主義社会を実現
 - * こうした力を子どもたちに育むという大きな流れが国内外で起こっている
- OECD Education2030、ラーニング・コンパスに示されていること（スライド4～）
 - * ウェルビーイング “よりよい状態（個人・社会・世界）”（スライド5）
 - * エージェンシー（スライド7）
 - ・ 働きかけるよりも自ら働きかける
 - ・ 型にはめ込まれるよりも自ら型をつくる
 - ・ 他人の判断や選択に左右されるよりも自ら責任をもって判断や選択を行う
- * コア・ファウンデーションズ “学びと育ちの中核的な基盤”（スライド8）
- * トランスフォーマティブ・コンピテンシー “変革をもたらすコンピテンシー”（スライド9）
- これらの力をどう育てるか AAR サイクル
 - * Anticipation “見通し” ⇒ Action “行動” ⇒ Reflection “省察”

エージェンシー
の表れ

2 教師の学びと専門職の資本

- 新たな時代における教師の学びの姿の基本的な考え方(「令和の日本型教育」を担う教師の在り方特別部会)
 - * 教師は何のために学び続けるのか ⇒ ウェルビーイング（スライド 11・12）
 - * 教師はどのようにして学ぶのか ⇒ AAR サイクル
 - * 教師にはどのような力が必要なのか ⇒ コンピテンシー
 - * これらに通貫する視点はなにか ⇒ エージェンシー
- 民主主義社会の発展を導く最重要エージェントは「教師」（スライド 13）
- 「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について(答申)
 - * 実現すべき教師を巡る理想的な姿（スライド 14）
 - ⇒ 子供一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴走者としての役割
 - ・ そのために「多様な人材の確保」「質の高い教職員集団」が求められるが、学校内で先生方の学び合い、同僚性、学び合うコミュニティをどうつくるのか
- 学習指導要領のこれまで(昔)とこれから(今)（スライド 15）
- 教師の「個別最適な学び」と「協働的な学び」（スライド 16）
 - * 個別最適な教師の学び ⇒ 教師一人一人が異なる存在
 - * 協働的な教師の学び ⇒ 教師は他者と学ぶことで成長する
- 日本の教師文化の類型（スライド 17）
 - * 公僕としての教師
 - * 労働者としての教師
 - * 技術的熟達者としての教師
 - * 省察的实践者としての教師

} どれかが強くなってしまいやすい
- 教師の仕事の特性（スライド 18）
 - * 教師の仕事の特性として不可避
 - ・ I（個人主義）+P（現在主義）=C（保守主義）… 前例踏襲に陥りやすい
 - * 明確な意図、意識、戦略をもって協働の場をつくり、未来を志向する
 - ・ C（協働）+F（未来志向）=T（変革）
- 専門職としての教師の資本（スライド 19）
 - * 人的資本 … 知識・スキル・心構え・資格 …
 - 教師の研修、養成は人的資本に集中しやすい

- * 社会関係資本 … 信頼・協働・相互扶助 …
「人は他者と学ぶことで成長する」 **社会関係資本を豊かにすると人的資本が高まる**
- * 意思決定資本 … 判断・事例経験・1万時間の実践・挑戦と伸長・省察
教師を専門職たらしめるもの
- * 子どもの学び、同僚の学び、社会の学びを創るためにも、教師がトランスフォームする必要性
- 意思決定資本(専門職の資本)はどのように培われるか(スライド 20~24)
 - * 様々な場面で判断を行っている同僚の「洞察」と「経験」を引き出す ⇒ 対話の場、授業研究
 - * 戦略1「同僚性の強化」ただのおしゃべり ⇒ 助け合い ⇒ 共有 ⇒ 共同作業
 - * 戦略2「同僚性の形態を変容する」 「自在に動くモザイク型」へ
 - * 戦略3「専門職の学び合うコミュニティの文化を育てる」
 - ・ 子どもたちの学び・育ちにフォーカスし、協働文化を築き、検証していく
 - * 戦略4「協働学習のシステムを構築し、文化を創っていく」
 - ・ 文化を創るには**言葉の実践が必要**
 - ・ **対話の中で**、喜び、楽しさ、勇気、悩み、不安、苦しみなどの**情動を物語っていく**
 - * 戦略5「専門職としての教師の資本に投資する」 協働省察学習としての研修をデザイン

3 授業研究の充実と教師の学び

- 専門職の資本と授業研究(スライド 25・26・27)
 - * 意思決定資本 … プロ(専門職)たらしめるもの
 - * 授業研究 … **協働省察学習**の場
- 授業研究の現状と4つのモード(スライド 28~33)
 - * 授業研究の業務化、形骸化、非日常化
 - * モード1 チェックリスト・評定・PDCA モード } 「評定項目や計画にしばられてしまう」
 - * モード2 プランニング・検証・SPCR モード } 等、問題点が多い
 - * モード3 ダイアログ・根拠・DPRR モード … 対話を重視した省察的实践を推進
 - * モード4 マルチスパイラル・探究モード … 授業とカリキュラムの連続性の中で繰り上げ

4 おわりに 先生方へのエール

- 変化を生み出す教師のみなさまへ(スライド 34)
 - ① 本物のプロになろう
 - ② 自分で始めよう：自分自身の経験を分析しよう
 - ③ 気配りできる教師になろう
 - ④ 社会関係資本を通して人的資本を磨こう
 - ⑤ 仲間の背中を押し、仲間に手を差し伸べよう
 - ⑥ 意思決定資本に投資し、意思決定資本を蓄積しよう
 - ⑦ 上司と良い関係を築こう：リーダーが本領発揮できるよう支えよう
 - ⑧ 最初の一步を踏み出そう
 - ⑨ 自分自身を驚かそう
 - ⑩ すべてを結びつけ、目の前の子どもたちに還元しよう
- 変化を生み出すために 学区・学校のリーダーのみなさまへ(スライド 35)
 - ① 力強く勇敢に専門職の資本を増やしていこう
 - ② 教職員のことを知り、教職員の文化を理解しよう
 - ③ リーダーシップの安定性と持続性を保障しよう
 - ④ 画策された同僚性(そしてその他のしゃくにさわる同僚)に気をつけよう
 - ⑤ 境界を越えて手を伸ばそう
 - ⑥ データに駆り立てられるのではなく、エビデンスの情報にもとづこう

【ご協議いただきたいこと】

- 木村先生のご講演から感じられたこと
- これから岡谷市の学校教育や先生方に期待すること